

発言No.

3

受付No. 17

令和6年11月22日

10時24分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 16 番

氏名 芦谷 英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、協働のまちづくりの推進状況について

- ①地区まちづくり推進委員会の設立状況は、令和6年度末で何組織となる見込みで、設立できていないのは何地区なのか問う。
- ②市内には、まちづくり推進委員会と連合自治会が統合されている地区があり、振興会、自治会、地域振興会などの名称で、まちづくり推進委員会に再編されているのは、何地域あるのか問う。
- ③協働のまちづくり推進のアンケートでは、地区まちづくり推進委員会の活動について、「知っている」、「ある程度知っている」を合わせても、約37%と少なく、市政の大きな柱にしては知られておらず、まちづくり推進委員会の体制のあり方、担うべき事業、地域にある各団体を束ねることができていないのではないかなと思うが、状況とその考えを問う。

2、市民の安全安心の環境の整備について

- ①市道に隣接しておらず救急車、消防車などが救急業務に容易に対応できない、消火活動に支障のある地域は何か所あり、何世帯あるのか問う。
- ②里道などは地方自治体に移管され、地域での生活道は、市道に加え多くの里道で支えられているが、緊急自動車が入れないなど市民の安全安心に支障がある場合、道路の改修の責任が市にあると思うが、どう対応する考えか問う。

3、高速道路を生かした地域振興策の推進について

- ①浜田道路、江津道路の通行量は新型コロナウイルス前の水準にまで戻っているのか、通行量の推移はどうなっているのか問う。
- ②観光の振興、人流の増加を図るためにも、浜田道路、江津道路の割引制度を拡充すること、無料化することなどの働きかけを、県西部高速道路利用促進協議会の会長である浜田市として、強力に進める必要があるのではないかなと思うがその考えを問う。

4、石見神楽伝承内容検討事業のこれからについて

- ①石見神楽伝承内容検討事業とあるが、伝承したものをどう生かすのか、どう市民や観光客に見てもらい、地域の振興につなげるのか、どのような事業化を構想しているのか問う。
- ②石見神楽を鑑賞する拠点づくりが必要となるが、どのようなことを構想し、どのように進める考えか問う。

5、新型コロナウイルス対策について

- ①市民の死亡者数は、新型コロナウイルスが始まる前、令和2年から3年、4年は大幅に増え、10%以上増えているが、これは新型コロナウイルスによるもの、またはその影響による死亡ではないかと推測できるが、どのような所見か問う。
- ②10月から始まったワクチン接種の状況は、対象者に対する接種済み者数などはどのようになっているのか、その状況を問う。
- ③ワクチンに対する懸念を示している市民が多数いるが、このような市民の声をどのように掌握しているのか問う。

6、学校給食センターの運営体制について

- ①学校給食の無償化に向けた取組、考え方と現在の検討状況を問う。
- ②学校給食センター職員の給与水準は、同じ教育行政の傘下にある、三隅学校給食を担っている職員、浜田市教育文化振興事業団などと比較してどのような水準にあるのか問う。

—以上—